

安全データシート

作成日 2016年12月20日（初版）

1. 製品及び会社情報

製品の名称 : ビゴールドフロアブル
 会社名 : アリスタ ライフサイエンス株式会社
 住所 : 東京都中央区明石町 8 番 1 号
 担当部門 : アジア事業部門 SDS 担当
 電話番号 : 03-3547-4673
 FAX 番号 : 03-3547-4695
 整理番号 : ALF0204-23861
 推奨用途及び使用上の制限 : 芝用殺菌剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

人健康有害性	: 急性毒性（経口）	区分 4
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 2（肝臓、腎臓）
環境有害性	: 水生環境急性有害性	区分 2
	水生環境慢性有害性	区分 2

上記で記載がない危険有害性は、「区分外」、「分類対象外」あるいは「分類できない」である。

GHS ラベル要素

絵表示 :



注意喚起 : 警告

危険有害性情報 : 飲み込むと有害
 長期にわたる、又は、反復暴露による肝臓、腎臓の障害のおそれ
 水生生物に毒性
 長期的影響により水生生物に毒性

注意書き : 【安全対策】
 この製品を使用する時は、飲食又は喫煙をしないこと。
 ミストやスプレーを吸入しないこと。
 取り扱い後、手をよく洗うこと。

ビゴールドフロアブル
アリスタ ライフサイエンス株式会社

必要な時以外、環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。

吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。

漏出物は回収すること。

【保管】

容器に密閉して換気の良い場所で保管すること。

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：テトラコナゾール・フルオキサストロビン水和剤

成分及び含有量

成分	含有量	化学特性 (化学式)	官報告示 整理番号	CAS 番号
(±)-2-(2,4-ジクロロフェニル)-3-(1 <i>H</i> -1,2,4-トリアゾール-1-イル)プロピル=1,1,2,2-テトラフルオロエチル=エーテル (別名 テトラコナゾール)	12.0%	C ₁₃ H ₁₁ Cl ₂ F ₄ N ₃ O	—	112281-77-3
(<i>E</i>)-{2-[6-(2-クロロフェノキシ)-5-フルオロピリミジン-4-イルオキシ]フェニル}(5,6-ジヒドロ-1,4,2-ジオキサジン-3-イル)メタノン=Oメチルオキシム (別名 フルオキサストロビン)	20.0%	C ₂₁ H ₁₆ ClFN ₄ O ₅	—	361377-29-9
水、界面活性剤等	68.0%	—	—	—

4. 応急処置

吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：水と石鹼で洗うこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

- 注意事項 : 取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- 接触回避 : 情報なし
- 保管 技術的対策 : 特別に技術的対策は必要としない。
- 混触危険物質 : 情報なし
- 保管条件 : 冷所、換気の良い場所で保管すること。
容器を密閉して保管すること。
施錠して保管すること。
- 容器包装材料 : 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 未設定
- 許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標) : 未設定
- 設備対策 : この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
ばく露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。
- 保護具 呼吸器の保護具 : 適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具 : 適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具 : 適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用すること。
- 衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状态 形状 : 水和性粘稠懸濁液体
色 : 類白色
pH : 7.8
比重 : 1.12 (25℃)
粘度 : 1,092mPa・s (20℃)

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 法規制に従った保管及び取扱においては安定。
- 危険有害反応可能性 : 加熱すると分解し、有毒なヒューム(窒素酸化物など)を生じる。
- 避けるべき条件 : 加熱
- 混触危険物質 : 情報なし

危険有害な分解生成物：有毒なヒューム（窒素酸化物など）

1.1. 有害性情報

- 急性毒性 経口 : ラット LD₅₀ 値：300<LD₅₀<2,000mg/kg (♀) (2013年) (区分4)
 経皮 : ラット LD₅₀ 値：>2,000mg/kg (♂、♀) (2013年) (区分外)
- 皮膚腐食性・刺激性 : 刺激性なし (2013年) (区分外)
- 眼に対する重篤な損傷・刺激性：軽微な刺激性が認められたが、3日後には刺激性は消失した。(2013年) (区分外)
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性：呼吸器感作性：情報なし
 皮膚感作性：皮膚感作性なし (2013年) 区分外)
- 生殖細胞変異原性 : 混合剤としては情報なし (テトラコナゾール及びフルオキサストロピンは陰性 (区分外)
- 発がん性 : 混合剤としては情報なし (テトラコナゾール及びフルオキサストロピンは発がん性なし (区分外)
- 生殖毒性 : 混合剤としては情報なし (テトラコナゾール及びフルオキサストロピンは生殖毒性なし (区分外)
- 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 混合剤としては情報なし (テトラコナゾール及びフルオキサストロピンにおいて単回ばく露による臓器障害は認められなかった。) (区分外)
- 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 混合剤としては情報なし (テトラコナゾールにおいて、イヌ及びラットの慢性毒性試験において肝臓・腎臓重量の増加が認められた。) (区分2)
- 吸引性呼吸器有害性 : 情報なし

1.2. 環境影響情報

- 水生環境急性有害性 : 魚類 (コイ) の 96h-LC₅₀ : 2.9mg/L (2013年) (区分2)
 甲殻類 (オオミジンコ) 48h-EC₅₀ : 1.4mg/L (2013年) (区分2)
 藻類 (緑藻) 72h-ErC₅₀ : 8.5mg/L (2013年) (区分2)
- 水生環境慢性有害性 : 急性毒性が区分2であり、急速分解性でない。(区分2)

1.3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
- 汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者

この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品（当該製品）に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実状に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されるようお願いいたします。